

#5
LMM
2/29/00**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

IN RE APPLICATION OF: Kohji TAKAHARA

GAU:

SERIAL NO: NEW APPLICATION

EXAMINER:

FILED: HEREWITH

FOR: IMAGE INFORMATION SERVER FOR STORING IMAGE INFORMATION

REQUEST FOR PRIORITYASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS
WASHINGTON, D.C. 20231

SIR:

- Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number , filed , is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e).
- Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
JAPAN	10-179731	June 11, 1998

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

jc649 U.S. PRO
09/330056
06/11/99



- are submitted herewith
- will be submitted prior to payment of the Final Fee
- were filed in prior application Serial No. filed
- were submitted to the International Bureau in PCT Application Number .
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
- (B) Application Serial No.(s)
 - are submitted herewith
 - will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.*Surinder Sachar*

Fourth Floor
1755 Jefferson Davis Highway
Arlington, Virginia 22202
Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 11/98)

Gregory J. Maier
Registration No. 25,599

Surinder Sachar
Registration No. 34,423

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application: 1998年 6月11日

出願番号
Application Number: 平成10年特許願第179731号

出願人
Applicant(s): 株式会社リコー

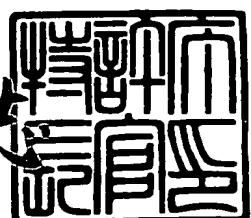
10649 U.S. PRO
09/330056
06/11/99



1999年 2月26日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

佐山 建志



出証番号 出証特平11-3010422

【書類名】 特許願
【整理番号】 9802374
【提出日】 平成10年 6月11日
【あて先】 特許庁長官 荒井 寿光 殿
【国際特許分類】 G06F 13/00 301
【発明の名称】 画像入力装置付き画像蓄積サーバ
【請求項の数】 4
【発明者】
【住所又は居所】 東京都大田区中馬込1丁目3番6号
株式会社 リコー内
【氏名】 高原 浩児
【特許出願人】
【識別番号】 000006747
【氏名又は名称】 株式会社 リコー
【代表者】 桜井 正光
【提出物件の目録】
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像入力装置付き画像蓄積サーバ

【特許請求の範囲】

【請求項1】 クライアント端末装置と共にネットワークに接続され、且つ個々のユーザに対応付けて画像情報を蓄積する画像蓄積手段を備えた画像蓄積サーバにおいて、画像蓄積手段に格納する画像情報を入力する画像入力装置を画像蓄積サーバ本体の外部に備え、且つ、上記画像情報と共に上記画像入力装置により読み込まれたフォーマット画像のユーザ情報またはユーザグループ情報を識別する画像識別手段と、上記画像識別手段により識別された上記ユーザ情報または上記ユーザグループ情報に属するユーザ情報に対応付けて上記画像情報を画像蓄積手段に格納する画像格納手段とを備えたことを特徴とする画像入力装置付き画像蓄積サーバ。

【請求項2】 請求項1記載の画像入力装置付き画像蓄積サーバにおいて、複数ページから成る画像情報を一つの画像ファイルとして画像蓄積手段に格納するように画像格納手段を構成したことを特徴とする画像入力装置付き画像蓄積サーバ。

【請求項3】 請求項2記載の画像入力装置付き画像蓄積サーバにおいて、読み込まれたフォーマット画像の文書開始情報および文書終了情報を識別するよう画像識別手段を構成し、上記文書開始情報と文書終了情報との間に読み込まれた1ページまたは複数ページの画像情報を一つの画像ファイルとして格納するように画像格納手段を構成したことを特徴とする画像入力装置付き画像蓄積サーバ。

【請求項4】 請求項2記載の画像入力装置付き画像蓄積サーバにおいて、読み込まれたフォーマット画像の文書終了情報を識別するよう画像識別手段を構成し、ユーザ情報またはユーザグループ情報と上記文書終了情報との間に読み込まれた1ページまたは複数ページの画像情報を一つの画像ファイルとして格納するように画像格納手段を構成したことを特徴とする画像入力装置付き画像蓄積サーバ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、クライアント端末装置と共にネットワークに接続され、且つ個々のユーザなどに対応付けて画像情報を蓄積する画像入力装置付き画像蓄積サーバに係わり、特に、画像入力装置が画像蓄積サーバ本体から離れて設置されたときに有効な画像蓄積サーバに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、オフィス内に複数のパーソナルコンピュータなどクライアント端末装置を配設し、それらのクライアント端末装置間でメールなどを交換し合うネットワークシステムが普及しつつある。このようなネットワークシステムでは、複数のクライアント端末装置で一つのプリンタを共有したり、一つのファイルサーバを共有するようなことも行う。

また、特開平8-6877号公報に示されたネットワークシステムでは、画像入力装置を共有する。つまり、図10に示すように、複数の第1の情報処理装置（クライアント端末装置）21、画像入力装置などを備えた第2の情報処理装置22、ファイルサーバなど第3の情報処理装置23などを共通の伝送路24に接続し、第1の情報処理装置21から第2の情報処理装置22へ画像情報転送要求があったとき、上記画像情報転送要求の要求元を転送先とする画像情報が既に入力されていれば上記画像情報を要求元へ転送し、未入力の場合は入力を待って上記要求元へ転送する。

また、特開平8-102837号公報に示された画像入力装置では、スキャナで読み取った画像情報を記憶部に記憶し、キーパッドから入力されたアドレスに従い、記憶部に記憶された画像情報をネットワークを介して処理装置（クライアント端末装置）へ送信する。

また、スキャナが接続された画像蓄積サーバを複数のクライアント端末装置が共有し、スキャナにより原稿の画像情報を読み取るとともに画像蓄積サーバを操作してユーザ名などを入力し、ユーザ名などと対応付けて画像蓄積サーバに蓄積し、クライアント端末装置からユーザ名などを指示して画像蓄積サーバ内の画像

情報を読み出すようになしたシステムも提案されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記の従来技術では、画像入力時に、クライアント端末装置または画像蓄積サーバ本体と画像入力装置との間を操作者が行ったり来たりして画像入力操作を行わねばならないという問題や、画像入力の度にユーザ名などを入力するキー操作を行わねばならないというような問題がある。

本発明の課題は、上記のような従来技術の問題を解決し、画像入力時に、クライアント端末装置または画像蓄積サーバと画像入力装置との間を操作者が行ったり来たりする必要もキー操作を行う必要もない画像蓄積サーバを提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】

上記の課題を解決するために、請求項1記載の発明では、クライアント端末装置と共にネットワークに接続され、且つ個々のユーザに対応付けて画像情報を蓄積する画像蓄積手段を備えた画像蓄積サーバにおいて、画像蓄積手段に格納する画像情報を入力する画像入力装置を画像蓄積サーバ本体の外部に備え、且つ、上記画像情報と共に上記画像入力装置により読み込まれたフォーマット画像のユーザ情報またはユーザグループ情報を識別する画像識別手段と、上記画像識別手段により識別された上記ユーザ情報または上記ユーザグループ情報に属するユーザ情報に対応付けて上記画像情報を画像蓄積手段に格納する画像格納手段とを備えた。

また、請求項2記載の発明では、請求項1記載の画像蓄積サーバにおいて、複数ページから成る画像情報を一つの画像ファイルとして画像蓄積手段に格納するように画像格納手段を構成した。

また、請求項3記載の発明では、請求項2記載の画像蓄積サーバにおいて、読み込まれたフォーマット画像の文書開始情報および文書終了情報を識別するように画像識別手段を構成し、上記文書開始情報と文書終了情報との間に読み込まれた1ページまたは複数ページの画像情報を一つの画像ファイルとして格納するよ

うに画像格納手段を構成した。

また、請求項4記載の発明では、請求項2記載の画像蓄積サーバにおいて、読み込まれたフォーマット画像の文書終了情報を識別するように画像識別手段を構成し、ユーザ情報またはユーザグループ情報と上記文書終了情報との間に読み込まれた1ページまたは複数ページの画像情報を一つの画像ファイルとして格納するように画像格納手段を構成した。

【0005】

上記のように構成したので、請求項1記載の発明では、画像蓄積サーバ本体の外部に備えた画像入力装置により画像情報と共に読み込まれたフォーマット画像のユーザ情報またはユーザグループ情報が識別され、上記画像情報が上記ユーザ情報または上記ユーザグループ情報に属するユーザ情報に対応付けられて画像蓄積手段に格納される。

また、請求項2記載の発明では、請求項1記載の発明において、複数ページから成る画像情報が一つの画像ファイルとして画像蓄積手段に格納される。

また、請求項3記載の発明では、請求項2記載の発明において、文書開始情報および文書終了情報のそれぞれが記載された2枚のフォーマット画像と、上記2枚のフォーマット画像の間に挿入した1枚または複数枚の画像情報を読み込ませると、上記画像情報が一つの画像ファイルとして格納される。

また、請求項4記載の発明では、請求項2記載の発明において、ユーザ情報またはユーザグループ情報が記載されたフォーマット画像と文書終了画像が記載されたフォーマット画像と上記二つのフォーマット画像の間に挿入した1枚または複数枚の画像情報を読み込ませると、上記画像情報が一つの画像ファイルとして格納される。

【0006】

【発明の実施の形態】

以下、図面により本発明の実施の形態を詳細に説明する。

図9は本発明の各実施の形態の画像蓄積サーバを含むネットワークシステムのシステム構成図である。図示するように、この実施の形態の画像蓄積サーバ1は画像蓄積サーバ本体（サーバ本体と略す）1aとその外部にケーブルを介して備

えた画像入力装置1bとから構成され、上記画像蓄積サーバ本体1aは例えば伝送路9に接続されている。伝送路9には、複数のクライアント端末装置2やメールサーバ3なども接続されており、それぞれのクライアント端末装置2は画像蓄積サーバ1に蓄積されている画像情報を自端末装置に読み出したり、メールサーバ3を介して広域網内の端末装置などへ上記画像情報をメールとして送ったりすることができる。

図1に上記画像蓄積サーバ1の詳細構成を示す。図示するように、サーバ本体1a内には、サーバ本体1aの全体を制御・管理するシステム制御部11、画像入力装置1bから送られてきた画像情報などを受信する受信部12、フォーマット画像として画像入力装置1bから読み込まれたユーザ情報などを識別する画像識別部（画像識別手段）13、画像入力装置1bから読み込まれた画像情報を蓄積しておく画像蓄積部（画像蓄積手段）14、伝送路9に接続されたクライアント端末装置2などとの間の通信を制御するLAN制御部15、RAM16などを備えている。なお、システム制御部11はプログラムを内蔵したROMや上記プログラムに従って動作するCPUなどを備え、上記画像蓄積部14に画像情報を格納する画像格納手段としても動作する。また、画像蓄積部14には例えばハードディスク装置や光ディスク装置等の大容量の記憶装置が用いられる。また、サーバ本体1aと画像入力装置1bとは数メートル乃至十数メートル程度の長さのケーブル或いは無線などにより接続されている。

【0007】

図2は本発明の第1の実施の形態を示す動作フロー図である。以下、図2などに従って第1の実施の形態の動作を説明する。

図2に示すように、この実施の形態の画像蓄積サーバのシステム制御部11は、待機時、画像入力装置1bからの画像入力があるか否かを監視している（S1→S1）。このような状態にあるとき、利用者（ユーザ）は、図3に示すようなユーザ名などの記載されたフォーマット画像用紙Pを先頭ページとして、入力原稿（画像）を画像入力装置1bにセットする。そして、画像入力装置1bに設けられた例えばスタートキーを押すことにより画像入力を開始させる。なお、図3において、二つのマークMはそれらにより挟まれた部分にユーザ名が記載されて

いることを示している。

受信部12を介してシステム制御部11が入力された画像情報を受け取ると（S1でYes）、システム制御部11は上記画像情報を画像識別部13に渡し、その画像情報中にマークMがあるか否かを識別させる。そして、マークMがある旨の通知を受けると、システム制御部11はその画像情報がユーザ名の記載されたフォーマット画像であると判断し（S2でYes）、画像識別部13にユーザ名の識別を指示する。これにより、画像識別部13はマークMで囲まれた部分にある画像情報を当業者には公知の文字認識方法で認識し、テキストコードのユーザ名に変換し（S3）、それをシステム制御部11に渡す。

【0008】

続いて、システム制御部11は上記ユーザ名が登録されているか否かを判定する（S4）。図4に示すようなユーザテーブルにユーザ名などが予め登録されており、上記ユーザテーブルがハードディスク装置（画像蓄積部14を構成している）などからRAM16へ既にロードされているので、システム制御部11は上記ユーザテーブル内を検索することによりユーザ名が登録されているか否かを判定するのである。

その結果、当該ユーザ名が登録されていると判定されたならば（S4でYes）、システム制御部11はユーザテーブルから上記ユーザ名に対応付けられたフォルダ番号を取得し（S5）、上記フォルダ番号をRAM16の所定領域に記憶させ、ステップS1へ戻る。また、ユーザ名が登録されていなかった場合は（S4でNo）、その旨を表示装置（図示していない）などに表示し、同様に、ステップS1へ戻る。

そして、画像入力装置1bからフォーマット画像に続く画像情報が読み込まれると（S1）、今度はマークが識別されないことから、システム制御部11は格納すべき画像情報であると判定し（S2でNo）、RAM16の上記所定領域に記憶させておいたフォルダ番号を参照し、画像蓄積部14の上記フォルダ番号の領域に上記画像情報を格納する（S6）。

この後、ユーザ（利用者）はクライアント端末装置2からユーザ名を指定して対応するフォルダ番号のフォルダから格納されている画像情報を引き出し、閲覧

することができる。

このように、第1の実施の形態によれば、設置場所のスペース上の理由などにより離れて設置されている画像蓄積サーバ本体1aと画像入力装置1bとの間を画像入力時に行ったり来たりする必要もないし、ユーザ名などを入力するためのキー操作を行う必要もない。また、クライアント端末装置2と画像入力装置1bとの間を行ったり来たりする必要もない。

【0009】

図5は本発明の第2の実施の形態を示す動作フロー図である。以下、図5などに従って第2の実施の形態の動作を説明する。

まず、待機時、システム制御部11は画像入力装置1bからの画像入力があるか否かを監視する(S11→S11)。このような状態にあるとき、利用者は、図3に示したユーザ名などの代わりにグループ名などが記載されたフォーマット画像用紙Pを先頭ページとして、入力原稿(画像)を画像入力装置1bにセットする。そして、画像入力装置1bに設けられた例えばスタートキーを押すことにより画像入力を開始させる。

そして、受信部12を介してシステム制御部11が入力された画像情報を受け取ると(S11でYes)、システム制御部11は上記画像情報を画像識別部13に渡し、その画像情報中にマークMがあるか否かを識別させる。そして、マークMがある旨の通知を受けると、システム制御部11はその画像情報がグループ名の記載されたフォーマット画像であると判断し(S12でYes)、画像識別部13にグループ名の識別を指示する。これにより、画像識別部13はマークMで囲まれた部分にある画像情報を文字認識方法で認識し、テキストコードのグループ名に変換し(S13)、それをシステム制御部11に渡す。

続いて、システム制御部11は上記グループ名が登録されているか否かを判定する(S14)。図6に示すようなユーザテーブルにグループ名などが予め登録されており、上記ユーザテーブルがRAM16へ既にロードされているので、システム制御部11は上記ユーザテーブル内を検索することによりグループ名が登録されているか否かを判定するのである。

【0010】

その結果、当該グループ名が登録されていると判定されたならば（S14でY_{e s}）、システム制御部11はユーザテーブルから上記グループ名に対応付けられたユーザ名（メンバー名）を取得し（S15）、上記ユーザ名をRAM16の所定領域に記憶させ、ステップS11へ戻る。また、グループ名が登録されていなかった場合は（S14でN_o）、その旨を表示装置などに表示し、同様に、ステップS11へ戻る。

そして、画像入力装置1bからフォーマット画像に続く画像情報が読み込まれると（S11）、今度はマークが識別されないことから、システム制御部11は格納すべき画像情報であると判定し（S12でN_o）、RAM16の上記所定領域に記憶させておいたユーザ名を参照し、図4に示したようなユーザテーブルから最初のユーザ名に対応したフォルダ番号を取得し、画像蓄積部14の上記フォルダ番号の領域に上記画像情報を格納する（S16）。

上記において、ユーザがそのグループに属する最後のユーザでないならば（S17でN_o）、次のユーザ名に対応したフォルダにも同じ内容の画像情報を書き込み（S16）、当該グループの全てのユーザのフォルダへの書き込みが終了すると、この動作フローから抜ける。

この後、ユーザ（利用者）はクライアント端末装置2からユーザ名を指定して対応するフォルダ番号のフォルダから格納されている画像情報を引き出し、閲覧することができる。

このように、第2の実施の形態においても、画像入力時に、画像蓄積サーバ本体1aと画像入力装置1bとの間を行ったり来たりする必要はなく、グループ名などを入力するためのキー操作を行う必要もない。また、クライアント端末装置2と画像入力装置1bとの間を行ったり来たりする必要もない。また、この実施の形態では、複数のユーザに同一の画像情報を配信することができる。

【0011】

図7は本発明の第3の実施の形態を示す動作フロー図である。以下、図7などに従って第3の実施の形態の動作を説明する。

まず、待機時、システム制御部11は画像入力装置1bからの画像入力があるか否かを監視する（S21→S21）。このような状態にあるとき、利用者は、

文書開始情報である図3に示したユーザ名などが記載されたフォーマット画像用紙Pを先頭ページとし、図8に示すような文書終了情報が記載されたフォーマット画像用紙Pを最終ページとして、入力原稿を画像入力装置1bにセットする。そして、画像入力装置1bに設けられた例えばスタートキーを押すことにより画像入力を開始させる。

システム制御部11が入力された画像情報を受け取ると(S21でYes)、システム制御部11は上記画像情報を画像識別部13に渡し、その画像情報中にマークMがあるか否かを識別させる。そして、マークMがある旨の通知を受けると、システム制御部11はその画像情報がユーザ名の記載されたフォーマット画像であり、且つ文書開始情報もあると判断する(S22でYes)。そのため、画像識別部13にユーザ名を識別させ、識別されたユーザ名を取得すると共に、ファイル管理部からファイル番号を取得し、文書リストに上記ファイル番号を追加し、RAM16内に空文書を作成する(S23)。

【0012】

この後、ステップS21へ戻り、再び画像情報の入力があり(S21でYes)、文書開始情報(ユーザ情報)が記載されたフォーマット画像でもなく(S22でNo)、文書終了情報が記載されたフォーマット画像でもないと判定されたならば(S24でNo)、システム制御部11は格納すべき画像ファイルの画像情報であると判断し、入力された画像情報をファイルを構成する1ページ分の画像情報としてRAM16内の空文書に追加する(S25)。

次のページが入力され(S21でYes)、そのページも文書終了情報の記載されたフォーマット画像でないならば(S24でNo)、ページ追加をくり返すが(S25)、文書終了情報の記載されたフォーマット画像であると判定されたならば(S24でYes)、システム制御部11はRAM16内に作成された文書を一つのファイルとして当該ユーザに対応付けられたフォルダに格納する(S26)。

このように、第4の実施の形態によれば、第1の実施の形態の効果を実現することができると共に、文書単位の管理が可能になる。つまり、利用者は、文書リストなどを参照して自分のフォルダ内の所望のファイル番号の文書などを指示し

て閲覧したりすることができる。また、画像入力時、複数の文書の間に文書終了情報を記載したフォーマット画像やユーザ情報などを記載したフォーマット画像を挿入することにより、複数の文書を1回の操作で連続して格納することもできる。

なお、上記実施の形態において、ユーザ情報が記載されたフォーマット画像の他に図8記載の文書終了情報と類似の文書開始情報記載のフォーマット画像を挿入し、それを文書の開始を示す情報として読み込むようにしてもよい。また、上記の実施の形態では、ユーザ情報を文書開始情報として兼ねさせたが、グループ情報を文書開始情報として兼ねさせてもよい。

【0013】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明は以下のような優れた効果を奏する。

請求項1記載の発明では、画像蓄積サーバ本体の外部に備えた画像入力装置により画像情報と共に読み込まれたフォーマット画像のユーザ情報またはユーザグループ情報が識別され、上記画像情報が上記ユーザ情報または上記ユーザグループ情報に属するユーザ情報に対応付けられて画像蓄積手段に格納されるので、画像入力時に、クライアント端末装置または画像蓄積サーバ本体と画像入力装置との間を行ったり来たりする必要もないし、ユーザ情報などを入力するためにキー操作を行う必要もない。

また、請求項2記載の発明では、請求項1記載の発明において、複数ページから成る画像情報が一つの画像ファイルとして画像蓄積手段に格納されるので、請求項1記載の発明の効果に加え、文書単位の閲覧などが可能になる。

また、請求項3記載の発明では、請求項2記載の発明において、文書開始情報および文書終了情報のそれぞれが記載された2枚のフォーマット画像と、上記2枚のフォーマット画像の間に挿入した1枚または複数枚の画像情報とを読み込ませることにより、上記画像情報を一つの画像ファイルとして格納するので、請求項2記載の発明において、文書の終わりなどが明確になるし、連続して複数の文書を格納することもできる。

また、請求項4記載の発明では、請求項2記載の発明において、ユーザ情報ま

たはユーザグループ情報が記載されたフォーマット画像と文書終了情報が記載されたフォーマット画像と上記二つのフォーマット画像の間に挿入した1枚または複数枚の画像情報を読み込ませると、上記画像情報が一つの画像ファイルとして格納されるので、請求項3記載の発明において、文書開始情報の入力が不要な分だけ画像入力時間が短縮される。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の各実施の形態の画像蓄積サーバの構成ブロック図である。

【図2】

本発明の第1の実施の形態を示す画像蓄積サーバの動作フロー図である。

【図3】

本発明の第1の実施の形態を示す画像蓄積サーバに係わる説明図である。

【図4】

本発明の第1の実施の形態を示す画像蓄積サーバ要部のデータ構成図である。

【図5】

本発明の第2の実施の形態を示す画像蓄積サーバの動作フロー図である。

【図6】

本発明の第2の実施の形態を示す画像蓄積サーバ要部のデータ構成図である。

【図7】

本発明の第3の実施の形態を示す画像蓄積サーバの動作フロー図である。

【図8】

本発明の第3の実施の形態を示す画像蓄積サーバに係わる説明図である。

【図9】

本発明の各実施の形態の画像蓄積サーバを含むネットワークシステムを示すシステム構成図である。

【図10】

従来技術の一例を示すネットワークシステムのシステム構成図である。

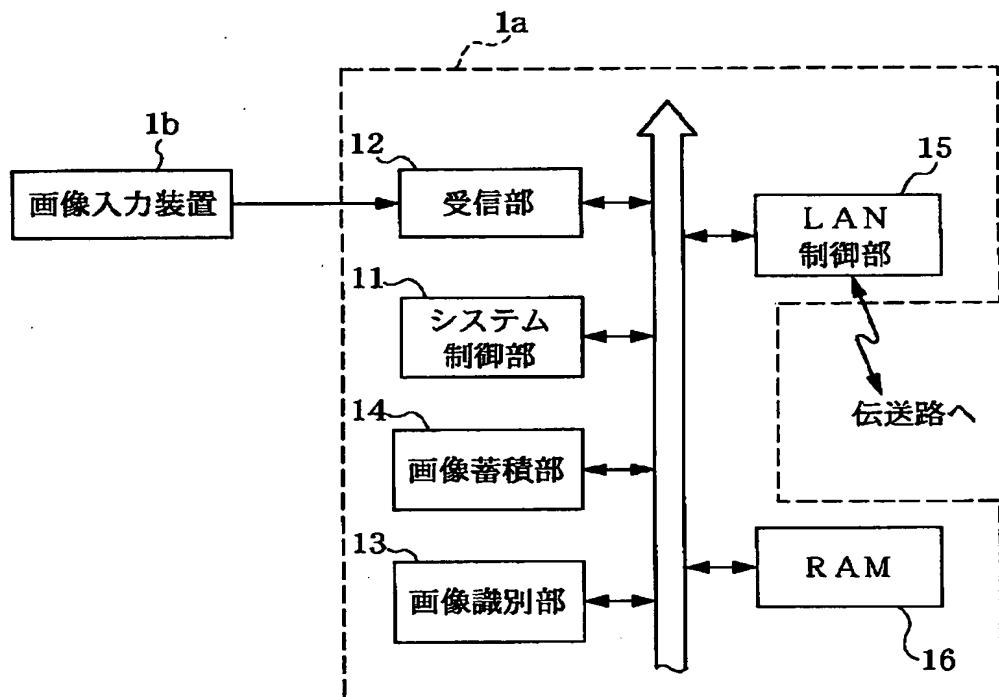
【符号の説明】

1：画像蓄積サーバ、1b：画像入力装置、2：クライアント端末装置、11

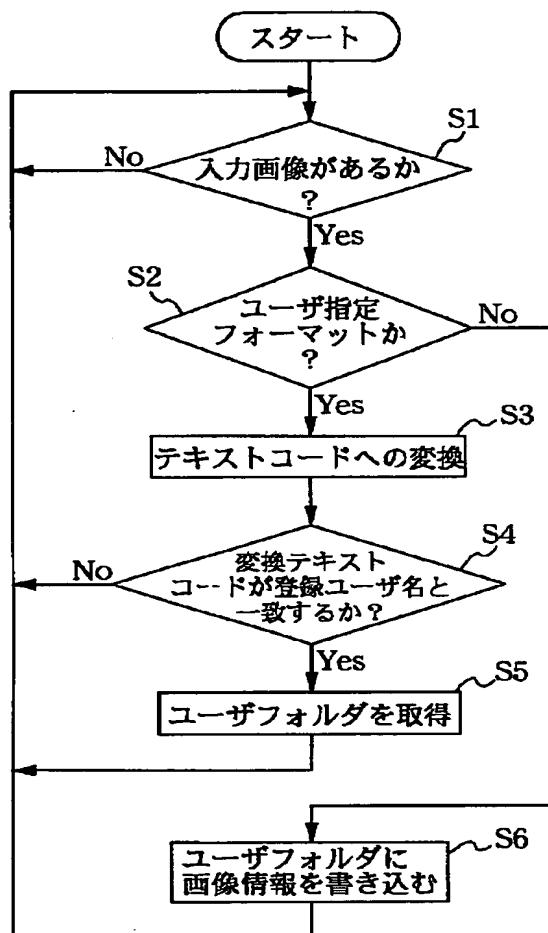
：システム制御部（画像格納手段）、13：画像識別部（画像識別手段）、
14：画像蓄積部（画像蓄積手段）、15：LAN制御部。

【書類名】 図面

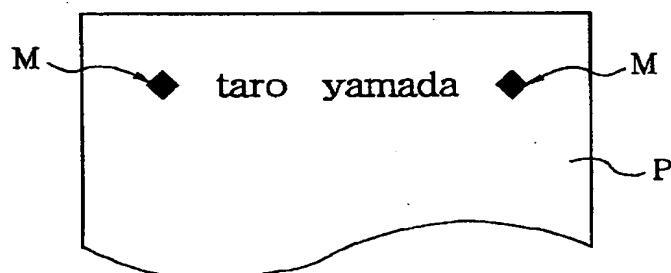
【図1】



【図2】



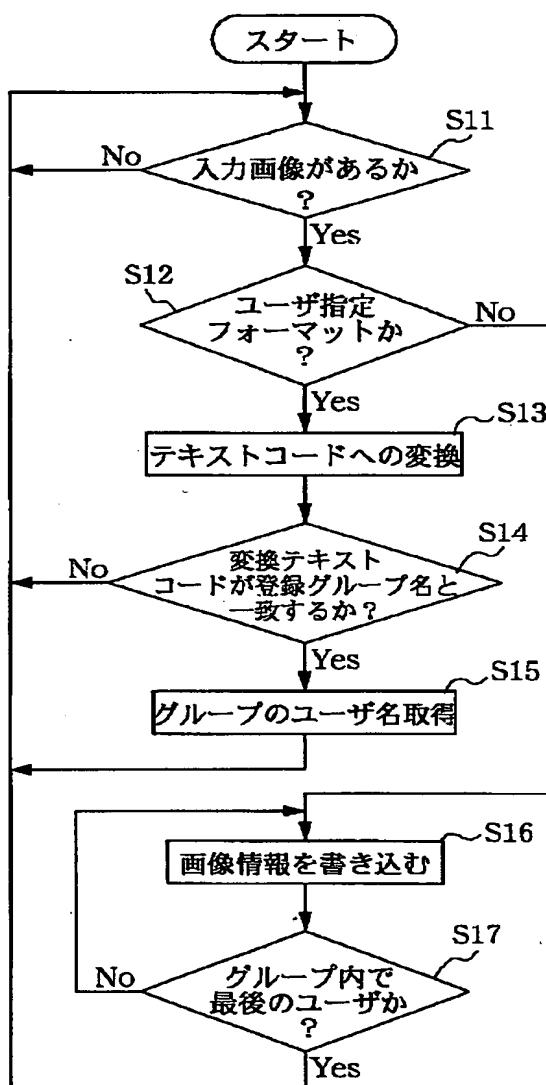
【図3】



【図4】

(ユーザ名)	(フォルダ番号)
ichiro suzuki	1
taro yamada	2
hanako tanaka	3
jiro nakamura	4

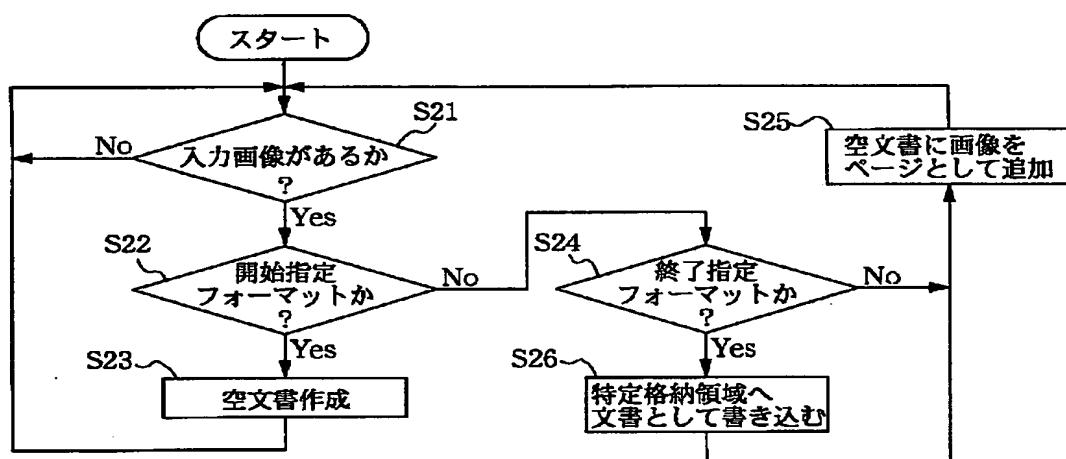
【図5】



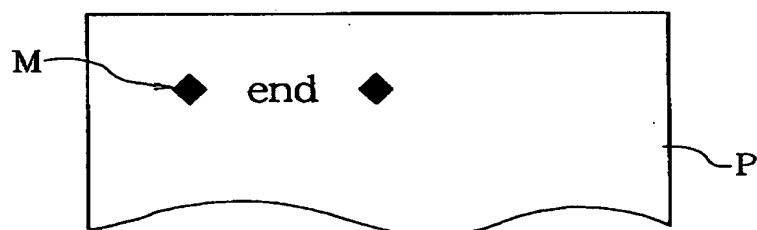
【図6】

(グループ名)	(ユーザ名)
G 1	ichiro suzuki, kenji sato, . . .
G 2	hanako tanaka, jiro nakamura, . . .
G 3	taro yamada,

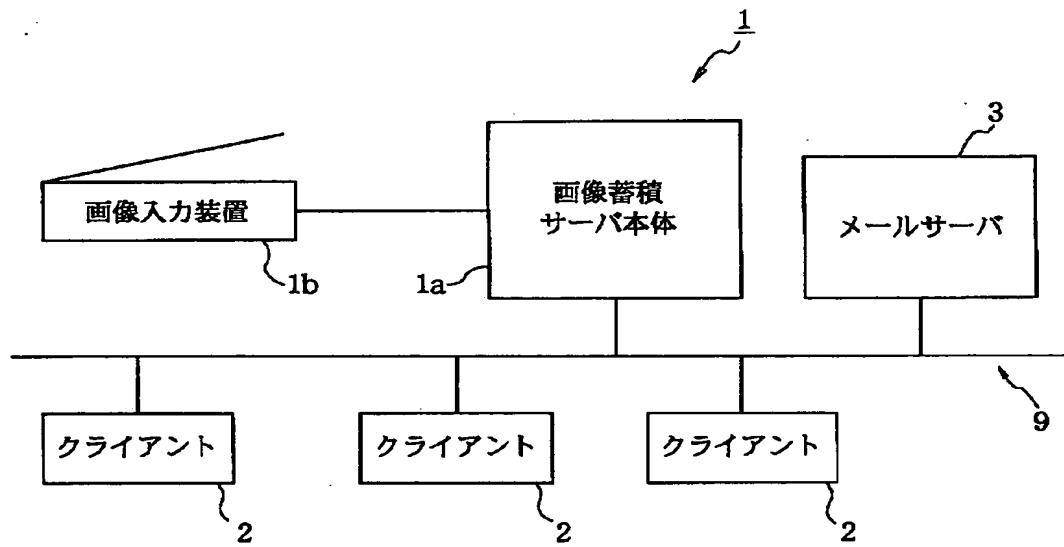
【図7】



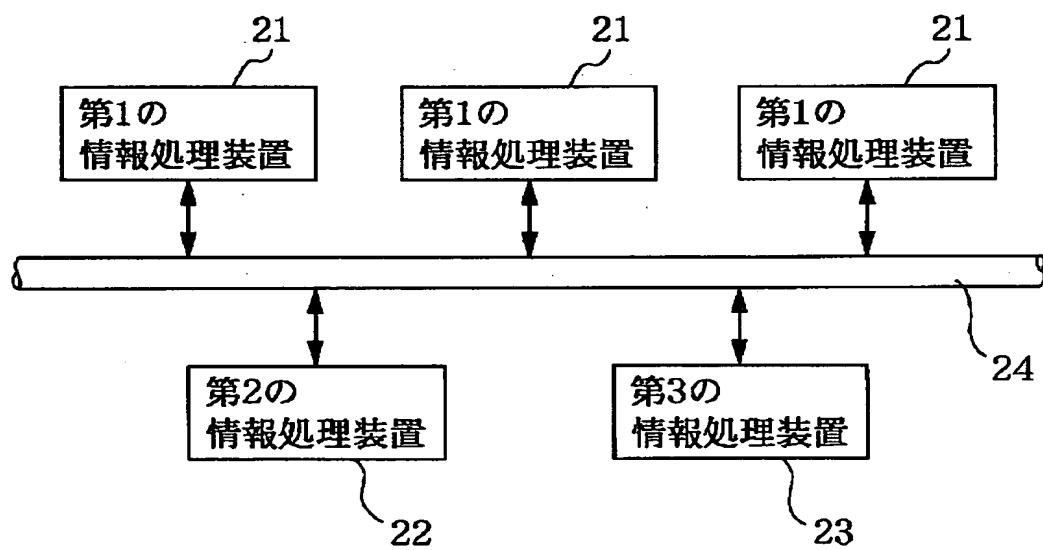
【図8】



【図9】



【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 画像入力時に、クライアント端末装置または画像蓄積サーバと画像入力装置との間を行ったり来たりする必要もないし、キー操作を行う必要もない画像蓄積サーバを提供する。

【解決手段】 クライアント端末装置と共にネットワークに接続され、且つ個々のユーザに対応付けて画像情報を蓄積する画像蓄積手段を備えた画像蓄積サーバにおいて、画像蓄積サーバ本体1aに格納する画像情報を入力する画像入力装置1bを画像蓄積サーバ本体1aの外部に備え、且つ、上記画像情報と共に上記画像入力装置1bにより読み込まれたフォーマット画像のユーザ情報またはユーザグループ情報を識別する画像識別部13、及び画像蓄積部14を備え、システム制御部11が、上記画像識別部13により識別された上記ユーザ情報または上記ユーザグループ情報に属するユーザ情報に対応付けて上記画像情報を上記画像蓄積部14に格納する構成にした。

【選択図】 図1

【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】 申請人 000006747
【識別番号】
【住所又は居所】 東京都大田区中馬込1丁目3番6号
【氏名又は名称】 株式会社リコー

出願人履歴情報

識別番号 [000006747]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都大田区中馬込1丁目3番6号

氏 名 株式会社リコー